

研修医の日常



住みやすさ全国 No.1 の立地で豊かな研修生活を！

王寺駅から徒歩 10 分の場所にあり、大阪へのアクセスも良く、県内有数の好立地にあります。
地元の王寺町は住みこちランキング全国 1 位になったこともある便利さ、住みやすさを誇っています。

- 【JR大和路線】 法隆寺駅まで4分、JR奈良駅まで16分（直通）
天王寺まで18分、JR難波まで27分（直通）
- 【JR環状線】 大阪駅まで37分（直通）
- 【おおさか東線】 新大阪駅まで48分（久宝寺経由）



大阪駅



当センターはココ！



東大寺

奈良駅
王寺駅より16分



奈良公園



法隆寺



天王寺(あべのハルカス)

王寺駅は JR 大和路線・万葉まほろば線、近鉄生駒線・田原本線のすべてが乗り入れるハブ駅です！
3つのスーパーや様々な商店、銀行、ジム、飲食店が集まっているため、豊かな研修医生活が送れます！

【王寺駅周辺】



住みこち(自治体)ランキング TOP10

順位	昨年	都道府県	自治体名	偏差値	評点	回答数
1位	12位	奈良県	北葛城郡 王寺町	73.4	1.05	91
2位	2位	東京都	中央区	73.4	1.05	832
3位	3位	大阪府	大阪市 天王寺区	73.1	1.05	337
4位	7位	愛知県	長久手市	72.2	1.02	217
5位	9位	東京都	文京区	72.2	1.02	1,148
6位	1位	福岡県	福岡市 中央区	71.8	1.01	806
7位	11位	大阪府	箕面市	71.6	1.01	416
8位	5位	愛知県	名古屋市 昭和区	71.5	1.00	438
9位	6位	福岡県	糟屋郡 新宮町	71.3	1.00	93
10位	17位	兵庫県	芦屋市	71.2	1.00	302

大東建託の全国版
住みこちランキングで
王寺町が全国 1 位に！

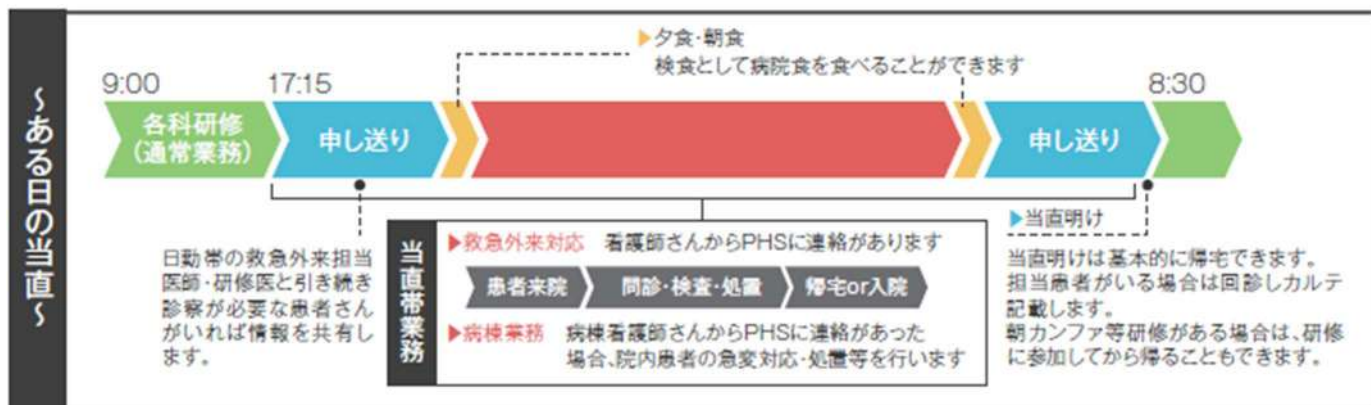
王寺駅周辺には、食品スーパーや薬局等の生活に欠かせないものから、居酒屋・飲食店の他、ジム等も充実しています！

出典：大東建託株式会社「いい部屋ネット住みこちランキング 2020 全国版」(一部抜粋)
https://www.kentaku.co.jp/mirakari/market/pdf/research/sumicoco/release_sumicoco2020_all_20201125.pdf

日勤・夜勤当番（研修医はすべての診療科の業務に関わります）

研修医にとって当直業務は気になる場所だと思います。奈良県西和医療センターでは、働き方改革に積極的に取り組み、令和5年度より当直を廃止し、日勤・夜勤当番制へと制度を変えました。これにより、夜勤当番明けの翌朝は勤務から外れますので、朝の申し送りが終わり次第、帰宅できます。夜勤当番では、内科、外科、小児科、ICU・CCUに上級医や指導医の先生が入っていますが、研修医も2名体制で当番に当たります。研修医の当番業務は、病棟の入院患者さんの診療だけでなく、救急外来の診療も担当します。指導医・上級医が側にいる環境で、内科、外科に関わらずすべての診療科の救急患者さんの初期診療を研修医が行います。年間の救急車の搬送件数は4,000件以上にもなりますので、忙しいですがみんなで頑張っています。毎年の実績では、研修医一人あたりの救急患者診療件数は年間平均500件です。ウォークインの患者さんから重症の救急搬送患者さんまで広範囲の診療に数多く当たりますので、あらゆる領域の救急対応において貴重な経験を積むことができます。このように一人当たりの経験数が非常に多いことが良いところでもあります。その一方で忙しい毎日になることを覚えておいてください。

当直日誌



奈良県立病院機構忘年会

12月に開催される奈良県立病院機構（奈良県西和医療センター、奈良県総合医療センター、奈良県総合リハビリテーションセンター、奈良県立病院機構看護専門学校）の忘年会です。400人近いスタッフが集まって開催されます。スタッフオブザイヤーなどの表彰や互いの施設の情報交換もでき、楽しい忘年会です。（COVID-19以降、中止しています）



臨床研修修了祝賀会

毎年3月の第2金曜日の夜、大阪天王寺のマリオット都ホテルで、臨床研修修了祝賀会を開催しています。この日は、病院の医師全員が集まり、研修医の卒業をお祝いしています。研修医も2年間に指導を受けたたくさんの先生方に感謝のこたえを送っています。後輩の研修医が卒業してゆく研修医の2年間をスライドやビデオにまとめ、みんなで笑ったり泣いたり、締めくくりの祝賀会です。

2023 年度祝賀会 現地開催復活

2022 年度祝賀会 Web（オンライン）開催

2021 年度祝賀会 Web（オンライン）開催

2020 年度祝賀会 Web（オンライン）開催

2019 年度祝賀会 Web（オンライン）開催

2023 年度祝賀会・同窓会



2018 年度祝賀会



2017 年度祝賀会



2016 年度祝賀会



2015 年度祝賀会・同窓会



研修医の集い in 奈良

研修医の集い in 奈良では、奈良県下で研修をしている研修医が大集合して、いろいろなテーマでディスカッションします。2023 年は奈良県西和医療センターと奈良県総合医療センターの研修医が開催当番にあたり、聖マリアンナ医科大学 救命救急センター 准教授 北野夕佳先生を招聘して、キャリアプランについてのワークショップを行いました。県内の研修医から集めた様々なアンケートの集計も発表し、とても盛り上がりました。

医師臨床研修修了証授与式



過去の修了生の進路（選択した診療科）（単位：名）

2017 年度修了者（4名）

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 1 /
麻酔科 1 / 循環器内科 1 / 形成外科 1

2018 年度修了者（8名）

泌尿器科 1 / 消化器外科 1 /
心臓血管外科 1 / 眼科 1 / 小児科 1 / 消化器内科 2 / 腎臓内科 1

2019 年度修了者（9名）

消化器内科 2 / 呼吸器内科 1 /
腎臓内科 2 / 形成外科 1 / 小児科 1 / 放射線科 1 / 医療行政等 1

2020 年度修了者（8名）

行政（名古屋市）1 / 小児科 1 / 産婦人科 1 / 消化器外科 1 / 脳神経外科 1 / 救急科 1 / 病理診断科 1 / 精神科 1

2021 年度修了者（7名）

皮膚科 2 / 耳鼻咽喉科 1 / 消化器内科 1 / 糖尿病・内分泌内科 1 / 総合診療科 1 / 美容外科 1

2022 年度修了者（8名）

泌尿器科 2 / 精神科 2 / 総合内科 1 / 小児科 1 / 放射線科 1 / 呼吸器内科 1

2023 年度修了者（10名）

整形外科 2 / 眼科 2 / 小児科 1 / 呼吸器内科 1 / 産婦人科 1 / 消化器内科 1 / 腎臓内科 1 / 精神科 1

先輩の声

2016 年度採用研修医 益田泰光(奈良県立医科大学卒)

こんにちは。私は 2016 年より奈良県西和医療センターで2年間初期研修をさせて頂き、2018 年より奈良県立医科大学形成外科に入局し形成外科医として働いています。

現在は奈良から遠く離れた岩手医科大学でステップアップの為に研修させて頂いております。今になって思うのは初期研修での2年間はその後の人生において、すごく影響があるなということです。

西和での2年間はとても濃いもので楽しいこと、しんどいことと、たくさんありましたが大きく成長できた期間であったと思います。お世話になった先生方、コメディカルの方々とは今でも定期的に集まり当時の思い出を話したりします。初期研修は医学生にとって初めて社会人になる場所でありそれだけにどこで研修するか、とても悩むと思います。病院選びの第一歩である病院見学で奈良県西和医療センターを見学し、社会人そして医師としてのスタートをぜひこの病院で始めてみませんか。



益田泰光

2017 年度採用研修医 羽根彩華(奈良県立医科大学卒)

奈良県西和医療センターは良かったと実感しています。病院全体が研修医教育に熱心であり、指導医・上級医の先生方だけでなく、スタッフの方もとても親切で、日々指導していただいています。当直時や救急外来研修では、先生の手厚い指導の下で研修医が主体的に考え、行動する機会が十分に与えられています。1年目の4月に初めて救急外来に対応した際は何もわからず不安だらけでしたが、数多く対応していくことで、今ではある程度自分で考えて行動することもできるようになってきました。もちろん、ただ数をこなすだけではなく、一つひとつの症例から学ぶことができるように先生から指導していただいたり、疑問に思ったことを研修医同士で考える機会も設けられています。研修医の人数は 15 人前後という多すぎず少なすぎずという人数で、切磋琢磨し助け合いながら日々楽しく過ごしています。私たち研修医は、少しでも多くの学生さんが当院を初期研修先として選んでくれることを願っています。



羽根彩華



研修医の日常

2017 年度採用研修医 大西将央(奈良県立医科大学卒)

初めまして、小児科後期研修の大西将央です。私は奈良県西和医療センターで2年間の初期研修プログラムを終え、3年目は小児科後期研修医として引き続き当院にて研修を行いました。

奈良県西和医療センターでの研修は良くも悪くも研修先病院では比較的小規模な地域中核病院であることだと思います。良い点としては、小規模であるため研修医の数も少なめで、各科の先生達の垣根も低く、研修科以外の先生にも様々なことを教えていただけること、圧倒的な Common disease の症例数であると思います。また、コメディカルの方も数が限られてくるので仲良くなれ、医師からは教われない多方面からのアドバイスなどもいただけます。悪い点としては、大学などと比べると重症例や専門的な治療が必要である症例、カンファレンスの数などアカデミックな点に置いては正直劣っている部分であるとは感じます。ただ、それを補う方法として、研修2年目で約6ヶ月まで奈良医大等の他病院での研修を選択することができます。私は、奈良県西和医療センターに無い科(精神科や3次救急)や3年目から専攻予定であった小児科を大学で研修しました。奈良県西和医療センターでありふれた症例をしっかりと学び、2年目で将来専攻する予定の科について大学病院などでさらに専門的な知識をつけることが可能です。

また、神奈川県の三浦市にある三浦市民病院での研修を選択することができ、訪問診療などを経験することもできます。日々忙しい中、違う環境で研修ができリフレッシュもできました。さらに、県職員対抗のソフトボール大会やみんなで斑鳩町のマラソン大会に出場するなど飲み会以外にもイベントが多く楽しく研修生活を過ごすことができました。

このパンフレットを見てくれている方は、奈良県西和医療センターでの研修を考えてくれていると思います。この紙面上では説明しきれないこともたくさんありますので、是非一度病院見学に来てくださればと思います。お待ちしております。



大西将央

2017 年度採用研修医 小田侑希(奈良県立医科大学卒)(現 奈良県西和医療センター泌尿器科勤務)

私は 2017 年4月から 2019 年3月まで奈良県西和医療センターで初期研修を行い、2019 年4月より奈良県立医科大学泌尿器科で後期研修医をしておりました。そして、2020 年の4月より奈良県西和医療センターの泌尿器科の医員として働くことになりました。この度当院での初期研修について紹介する機会をいただきましたので簡単ですが紹介させていただきます。当院での初期研修では、初期研修医に必要な知識や技術を2年間で十分学ぶことができます。また、研修のプログラムとして当院以外に奈良県立医科大学や奈良県総合医療センターへの研修も可能であり、2年間でいろいろな施設に研修できるため研修の自由度が高いと思います。私は、救急科を奈良県総合医療センターで、泌尿器科を奈良県立医科大学で研修し、複数の異なる環境を体験でき大変勉強になりました。地域医療研修では神奈川県の三浦市立病院に1ヵ月研修し、奈良県とは違う地域医療を体験できることも魅力の一つです。当院の院内セミナーは年々充実し、現在では適度は数で良質な講義を受けようになっています。研修医主体で開く勉強会なども多く、医師として必要な発表する能力などが自然と養われます。日々の診療で自学自習が難しくてもセミナーや勉強会に出ることでカバーできる体制が整っています。当院での初期研修で培ったことはその後の医師人生のバックボーンとなっていると実感しております。ぜひ当院での研修を検討してみてください。



小田侑希

2017 年度採用研修医 曾我真弘(奈良県立医科大学卒)

初めまして、2017 年度採用の外科の曾我と申します。

初期研修2年間は奈良県西和医療センターで研修し、その後奈良医大に入局しました。病院の特色として医師・看護師など病院にかかわる人が親しみやすく、アットホームで、すぐに溶け込むことができました。また外科と内科の垣根も高くなく、気軽に相談しあえる関係で仕事もスムーズに進みます。

当院での初期研修2年間はとても充実したものであったためこれから当院で研修する先生方は後の医者人生においてとても有意義であると思われます。教育熱心な各科の先生方に加えて外部講師を招いて行われるレクチャー、エコーなどの手技の実習も豊富です。必ず研修医の先生方の力になると思います。まず当院に見学に来てみて雰囲気を感じてください。当院で研修したくなること間違いなしです！



曾我真弘

2018 年度採用研修医 田畑成美(関西医科大学卒)

初期研修の2年間は忙しくも楽しい、非常に充実した時間でした。私が感じた当院の魅力についてご紹介したいと思います。

まず何よりお伝えしたい当院の特徴は、アットホームな雰囲気です。各診療科の垣根が低く、コミディカルなスタッフの方々は大変親切です。一緒に働くスタッフの方々から日々多くのことを学ばせて頂きました。

さらに当院のプログラムの特徴として、他院でも研修できることが挙げられます。大学病院と比較すると市中病院は診療科数が少なく、研修できる診療科も限られてしまいます。しかし、当院では希望すれば研修2年次に他院で研修を行うことが可能です。複数の病院で研修できる市中病院は多くはありません。実際に私は当院にはない神経内科や精神科を他院で選択しました。普段とは異なる環境で働くことができたことも大変良い経験になりました。

医師としての最初の時間をぜひ当院で過ごしてみませんか。まずは一度見学に来て、当院の雰囲気を肌で感じて頂ければと思います。



田畑成美



研修医の日常

2018 年度採用研修医 田丸遙菜（奈良県立医科大学卒）

2018 年度採用の田丸です。私が当院での初期研修を選んだ理由としては、同期が多すぎずまとまりが良さそうなことや研修医の教育に情熱を持って病院全体で行っていること、研修医2 年目になるとそれぞれに合わせた研修プログラムを組めることでした。教育に力を入れたプログラムで、救急患者さんの対応や入院患者さんの管理はもちろん行いますが、心電図やエコー、感染症、画像の読影などについてレクチャーがあり、一人で学ぶよりも見て聞いて実践することでより多くの事を吸収することが出来ました。特にエコーは一人で学ぶには限界があるので、上級医の指導のもと研修医同士でエコーの練習をすることで手技が身に付けることができました。普段の業務の中でも疑問があるときは上級医の先生方が理解できるまで丁寧に教えてくださるので、日々多くのことを吸収することができました。毎日学ぶことが豊富にあり充実した研修医生活を送ることができ、医師としてスタートを切る病院として奈良県西和医療センターを選んで良かったなと思っています。興味を持たれた方はぜひ一度見学をして雰囲気確かめてください。



田丸遙菜

2018 年度採用研修医 北村俊介（奈良県立医科大学卒）

初めまして。2018 年度採用の北村俊介です。

奈良県西和医療センターの2 年間の初期研修を終えて、自分が感じたことを述べさせていただきます。市中病院であり、common disease や手技の機会が豊富で、自分が研修していない他科の上級医とも話やすく、なんでも学ぶことが出来る環境は整っていると思います。同期の数も10 人程度で、とても仲良くなりやすい人数ではないでしょうか。医師としてのスキルが上げる機会が多いのはもちろんですが、中規模の病院であり、すべてのスタッフとの距離が近く、研修医も入ってチーム医療を行うことが出来、今後の自分自身の医師としての振る舞い方を考える事ができる、充実した2 年間の研修を送れると断言できます。学生での病院実習と医師として働きだしてからは、自分自身の医療に対する意識や責任が全く違い、戸惑うことも多いかと思います。当院であれば、そんな不安も全くなく、2 年間充実した研修が送れます。是非一緒に働きましょう。



北村俊介



2018 年度採用研修医 芝田洋輔(関西医科大学卒)(現奈良県西和医療センター腎臓内科勤務)

初めまして、内科専攻医の芝田です。私はたすき掛けプログラムのため、研修1年目を大学病院(奈良県立医科大学付属病院)で行い、2年目から奈良県西和医療センターで研修を行いました。今回は研修を通じて感じた大学病院と市中病院の違いについて紹介させていただきます。

まず病棟業務についてです。大学病院の入院患者は専門性が高く、専門的な知識を学ぶことができる反面、研修医が自分で考えて検査や処方をできる機会は多くありませんでした。奈良県西和医療センターはもちろん専門性の高い患者もいますが、common disease の患者も多いため、報連相をしっかりとすれば大学病院よりも臨床に関われる幅が広いと思います。

次に当直業務についてです。大学病院の当直は診療科ごとの当直が多く、研修医1年目であったこともあり、ファーストタッチは上級医が行うことが多かったです。研修医は上級医の指示に従い、採血などのサポートを行っていました。奈良県西和医療センターの当直は研修医1年目から内科救急当直を行います。基本的にファーストタッチは上級医の指導のもとで研修医が行い、自分で考えて検査や治療をできる機会が多いです。もちろん、分からないことがあれば上級医が快く相談に乗って下さり、事前の情報で研修医のみでの対応が難しいと予想される場合は上級医も初療に加わって下さります。現在内科専攻医として当直業務を行うにあたり、研修医時代の経験が生きていることを実感しています。

また、大学病院は研修医の人数が多く、診療科ごとの講義はありますが全体に向けた講義はほとんどありませんでした。奈良県西和医療センターは研修医の人数が限られている分、講義が充実しています。専門の先生が分かりやすく教えて下さるため、心電図やエコーなどについて自学自習よりも深く理解できたと実感しております。

見学に来て頂ければ、より違いを実感することができると思いますので、ぜひ1度当院にお越し下さい。



柴田洋輔

2019 年度採用研修医 宇野春日(奈良県立医科大学卒)

2019 年度採用の宇野と申します。私が研修医として勤務していた際、一番気に入っていたのは立地環境です。生活の質の向上には、施設設備や研修プログラム以上に病院や家の環境が重要です。奈良県西和医療センターのある王寺は街の住みこちランキングで全国1位に輝いた魅力あふれる街です。さらに西和の研修医用借り上げ住居は他病院の研修医から羨ましがられるほどでした。私生活でしっかりと休養できる分、仕事にも身が入り充実した研修医生活となりました。残念ながら詳細をご説明するには文字数が足りませんので、ぜひ見学時に質問してみてください。私は3年目以降の進路として公衆衛生医師を選び、今は名古屋市保健所中保健センターで勤務しています。入職後すぐ新型コロナウイルス感染症の「第4波」が到来し、最前線で感染症対策にあたりました。行政医でありながら臨床に従事する場面が多々ありましたが、西和で感染症関連業務や郡山保健所研修など経験していたおかげで円滑に業務にあたることができました。西和ほど研修プログラムを進路に沿うよう柔軟に調整いただける臨床研修病院は貴重だと思います。またどんな進路を選んでも応援し支えてくださる懐の深さに救われていました。改めてご指導いただいた先生方や職員の方々ならびにご尽力いただいた事務の皆様に御礼申し上げます。



宇野春日

研修医の日常

こんにちは。

当院で 2 年間の初期研修を修了し、3 年目も小児科医として引き続き当院に配属されていました久保と申します。

2 年間の研修に飽き足らず、3 年目を迎えた私がまず言っておきたいことは初期研修の病院として奈良県西和医療センターを選んでよかったと思っているということです。これは研修終了時に同期が口を揃えて言っていたので、お気に入りポイントは人により違えど、まあそういうことなんでしょうと思います。数ある中のお気に入りポイントをいくつかご紹介します。

1 つ目は、研修医のために数多くのレクチャーや講義が組まれている点です。これらの講義では上級医の先生方が事前にポイントを絞り準備をしてくださり、わかりやすく、またフランクな形で進めてくれるため、前向きに参加しながら様々な知識や手技を身につけることができます。病院に用意してもらわなくても研修医向けの勉強会そのものはたくさん開催されていますが、自分で参加するものは興味のある分野だけに偏ってしまいがちです。興味を限定せず勉強する機会を得ることができるという点で良かったと思っています。さらにもう一つの利点として、自分が回った、回っている科以外の先生ともコミュニケーションを取る機会が常にあり、研修医にとって相談しやすい環境が自然と出来ていたことも良かった点です。

2 つ目は、先生方はもちろんコメディカルの方々も含めて研修医を育てようという雰囲気、体制がある点です。これは当院で研修するにあたっての最大の魅力であると思います。上級医はもちろん、コミュニケーションをとる機会の多い看護師さんや技師さんなど病院で働く全員が温かく接してくださるので 1 年目の右も左もわからない状態の時から安心感の中で研修を行うことができます。また、私の研修 2 年目は COVID-19 という新たな脅威に対して研修医も含めて病院全体で奮闘するという予想外の出来事が起こった年でした。そんな時でも研修医の外病院での研修や勉強会の参加の仕方など、できるだけ研修不良にならないようにと常に研修担当の先生方が困りごとはないかヒアリングしてくださり対応してもらったことで研修を無事終えることができたと思っています。臨床面においても、内科救急当直ではファーストタッチを任せられ、問診、身体所見、鑑別、検査、治療を多岐にわたって考え、上級医の先生の指導の下でフィードバックもすぐにしてもらえるため、常に様々な疾患や考え方に触れることができ、日々成長を実感しながら勉強することができます。年間で 500 件程度の救急のファーストタッチを行います。数以上の知識、学びを引き出してもらえます。

まだまだありますが、少々長文となっているのでこのあたりで…。

ご縁があれば、一緒に働きましょう。



久保 昂司



2019 年度採用研修医 坂元優太(奈良県立医科大学卒)

奈良県西和医療センターで初期研修を修了し、現在は奈良県立医科大学付属病院で勤めております、坂元優太と申します。奈良県西和医療センターの研修生活について微力ながらお伝え出来ればと思います。初期研修医の二年間は医師として、社会人として少しでも一人前になれるように日々の研修生活を送ることが重要ですが、同時に自分自身の今後の進路についても考えていかななくてはなりません。学生時代から自分の志望科が明確な方もいますが、大部分の方は初期研修医中に志望科を選択しています。奈良県西和医療センターは研修内容の自由度が高く、自分の進路が明確になりつつある初期研修医一年目の冬に初期研修医二年目のプログラムを決定することが出来ます。志望科として悩んでいる科を幅広く回ることも出来ますし、自分の志望科が明確な人は自分の科に関与する科を中心に研修することが出来るため初期研修医にとっては非常にメリットが大きいです。また病院全体として研修医を熱心に指導しようとする風潮があり、日々の病棟業務、当直業務、勉強会等の研修生活を送っていく中で少しずつ成長を実感することも出来ます。また他府県への交通の便が良いことも魅力の一つです。少しでも当院に興味を持たれた方は是非一度見学にいらしてください、お待ちしております。



坂元優太

2019 年度卒研修医 助川正泰(東北大学卒)

2019 年度採用の助川です。私は元々出身が関東で東北の大学を卒業しており、奈良県はおろか関西地方で生活したこともありませんでした。縁あって奈良県西和医療センターで研修することになりましたが、研修前は正直不安な気持ちがなかったと言えは嘘になります。しかし実際に研修医として働き始めて今感じることは、この病院で研修することができて本当に良かったという事です。病院全体がアットホームな雰囲気気で研修医を教育する意識が浸透しており、分からないことがあっても指導医の先生方やコメディカルの方々がとても親切に教えてくださいます。また、心電図やエコー、放射線読影などの日々の様々なレクチャーも充実しており、研修医は優先的に出席することができるというのも研修医の学ぶ環境として非常に優れた当院の特徴の1つであると思います。より多くの魅力を感じることができると思います。お待ちしております。



助川正泰



研修医の日常

2019 年度採用研修医 三好智浩(奈良県立医科大学卒)

こんにちは。2019 年度採用の三好です。新しい環境に身を置くと、自分1人では解決できないことが必ずでてきます。そのときに頼れるのは先輩医師や、看護師をはじめとしたコメディカルスタッフ、そして同期です。奈良県西和医療センターには、疑問が適切に解決され日々の成長に確実につながれる環境があります。そしてその成長は私自身も日々感じ取りながら仕事ができおり、充実しております。また同期は約 10 人と適度な人数なので、一人当たりの症例数が過不足なく、一つ一つの症例が消化不良にならずに、どうすれば次に活かせるかをしっかり吟味することができるのも良い点と言えます。日々の勉強会も充実しているのですが、学生のころと異なり、対話形式の講義が多く、記憶に残りやすいため、一人で学ぶよりも効率的であると思います。立地に関しても、王寺駅が最寄りなので大阪の市街地に比較的アクセスしやすく、仕事終わりのリフレッシュもとりやすい環境です。当センターの魅力は写真や文章だけでは伝えきれません。ぜひ一度お越しいただき、当センターのあたたかい雰囲気や教育への想いを感じ取っていただければ幸いです。



三好智浩

2019 年度採用研修医 中川龍太郎(奈良県立医科大学卒)

2019 年度採用の中川です。奈良県西和医療センターの魅力をいくつかご紹介したいと思います。ひとつは研修医の人数です。当院の初期臨床研修医は、1 年目 2 年目ともに 8 名という人数ですが、これが多すぎず少なすぎず、絶妙な人数だと感じております。症例の取り扱いなどは起こらず、全員に均等に機会がやってきますし、かといって負担になりすぎることありません。日々数多くの症例や手技を丁寧に指導いただけて、すぐに実践するチャンスがやってくるのは非常に大きいポイントだと思います。



中川龍太郎

つぎに挙げたいのは、柔軟な臨床研修プログラムです。2 年目からは各々自由に回る科を選択することができますし、病院も奈良県立医科大学附属病院や、奈良県総合医療センターなどで研修させていただくことも可能です。自らの関心のある診療科や当院では研修できない科を、他の病院で研修させていただけるのは、非常に優れたプログラムと考えます。

最後に挙げるのは、豊富な勉強会です。優しく教育熱心な先生方による勉強会は、明日からの臨床現場で生かされるものばかりで、毎回多くのことを吸収できます。

少しでも興味をもっていただけたら、ぜひ奈良県西和医療センターへ見学に来てください。研修医一同お待ちしております。



2019 年度採用研修医 伴理紗子(東北大学卒)

2019 年度採用の伴 理紗子です。この度は奈良県西和医療センターに興味を持っていただきありがとうございます。当院での研修は毎日が充実しております。研修医としての日々の業務に加えて、多くの勉強会が開催されており、毎回たくさんのことを学ばせていただいております。

当院の良いところの 1 つとして、病院全体がアットホームな雰囲気であることです。上級医の先生はもちろんのこと、看護師やコメディカルの方々、皆さんが親切で分からないことがあっても丁寧に教えてくださいます。また 1 年目の研修医数が 8 人と少数であることから、一人一人覚えてもらえて、何かと気にかけてくださいます。



伴理紗子



2019 年度研修医 前防克也(関西医科大学卒)

初めまして、前防克也と申します。私は 2021 年 3 月まで奈良県西和医療センターで初期研修をしていました。西和医療センターでは研修医のための様々な勉強会があり、実践的な知識を学ぶことができます。2020 年は中止になりましたが、医療器具メーカーの施設を借り、泊まりがけで心肺蘇生や様々な手技のトレーニングをするイベントも毎年開催されていました。宿泊施設では温泉を楽し

み、宴会も行われ、良い思い出になりました。研修医自身が様々なテーマ(頭痛、腹痛、発熱など)についてまとめて発表する勉強会や、大和川メディカルアカデミーという院内学会もあり、指導医の先生方のアドバイスを受けながら、人前で発表する経験も積むことができました。

研修科については、最初に内科で基礎的な知識を学ぶことになっており、当直などにもある程度対応できるようしっかりと指導してくださいます。基本的にどの科でも担当症例数を調節し、各症例に関して考察する時間を多く設けてくださいます。そのため一つ一つの症例について深く理解することができ、考える力を養えます。手技についても経験する機会が多くあり、習得しやすい環境が整っています。2 年目はかなり自由に科を選択でき、奈良県立医科大学附属病院など他院で研修することも可能です。西和医療センターでは指導医の先生方はもちろん、スタッフの方々全員が研修医に対して丁寧に接してくださいます。コミュニケーションの取りやすい雰囲気、病院全体で研修医を受け入れ、育てようとしてくださっているのだと感じます。私は研修に関する悩みで指導医の先生に相談させていただいたことがありますが、真剣に話を聞いてくださり、とても気持ちが楽になりました。今でも感謝しています。



前防克也

研修医の日常

2020 年度採用研修医 衣川博貴(奈良県立医科大学卒)

こんにちは。2020 年度採用の衣川です。この度は当院に興味を持っていただきありがとうございます。奈良県西和医療センターでの研修は、私が思っていた以上に充実していて、非常に手厚い研修を受けさせていただいていると感じています。研修医として働いてみると分かるのですが、一年目の研修医なんて学生とほぼ変わらず(特に私の場合がそうなのかもしれませんが)、上級医やコメディカルの方々に迷惑をかけることばかりです。しかし、そんな私でも当院のすばらしい指導医の先生方、またスタッフの方々のご協力のおかげで、少しずつ医師としての一歩を踏み出していけていると感じております。

当院での研修の魅力の一つを挙げるなら、やはり救急外来での内科救急のファーストタッチを行えることがあるでしょう。当院は西和地域の二次救急までを請け負っていますが、内科的救急疾患の初期診察、必要な検査オーダーなどは研修医が行うことになっています。症候、身体所見に応じた鑑別を挙げ、必要な検査、治療を考える作業はその全てが難しくも非常に実になるもので、学ぶことが尽きません。もちろん、指導医の先生のもとで行うのでいつでも相談することができますし、フィードバックもしていただけます。

研修サポートという側面での魅力の一つを挙げるなら、当直の翌日は基本的にお休みを頂けることがあるでしょう。研修させて頂いている身ですがしっかりと休養を取らせていただけて(先生方も基本的に快く休養を勧めてくださいます)、次の日からまた全力で研修に励むことができます。

そのほかにも、研修医室にはパソコンが一人一台用意されていてカルテも開けること、多くのレクチャーがあること、立地がとても良いことなど、当院の魅力は挙げればキリがありません。ぜひ一度当院に足を運んでみてください。皆さんの見学を心よりお待ちしております。



衣川博貴



2020 年度採用研修医 中川穂香(奈良県立医科大学卒)

初めまして。2020 年度採用の中川です。

奈良県西和医療センターでの研修内容に興味を持っていただきありがとうございます。

研修を終えて改めて感じた奈良県西和医療センターの魅力について少しでもお伝えできたらと思います。当院での研修の一番の魅力は、教育熱心な先生方と親切に接して下さる医療従事者の方々だと思います。私は最初に内科を4ヵ月ローテーションしたのですが、指導医の先生方が業務の合間を見つけて、研修医に手技を指導する時間をとってくださったり、症例の文献を検索し教授して下さったり、忙しい外来の合間にも外来患者さんを一人一人説明し指導して下さったりと、熱心に指導して下さり充実した日々を過ごすことができました。

また、研修を始めた当初はわからないことばかりで落ちこんでしまうことも多かったのですが、共に働く看護師さんが「いずれはできるようになるから」と励まして下さったり、指導医の先生が「疲れてない？頑張ってるね」と声をかけて下さったり、温かい環境に励まされていました。

足を運んでいただけたらと思います。

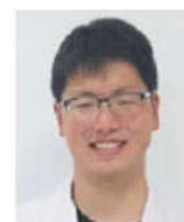


中川穂香

2020 年度採用研修医 畠健悟(奈良県立医科大学卒)

初めまして、2020 年度採用の畠 健悟です。当院の研修は 1 年目は内科系など必修科を中心に回ります。そこで、カルテの書き方、処方の仕方など基本的なことから診断・治療に必要な知識など医師としての基本を学びます。研修医の数が少なく、症例・手技を取り合うことなく多くを経験させていただいております。最初は学ぶことが多く、簡単なことでも時間がかかり苦労も多かったのですが、どの科でも例外なく、指導医の先生方は熱心で忙しくも充実し成長を実感できる日々を過ごしています。看護師さんや薬剤師さんなど他の医療関係者との距離も近く、様々なことを気軽に相談させていただいたりして、多職種間での連携の重要性を学ぶこともできました。当直業務では救急患者さんの初期対応を上級医の指導のもと、研修医が自ら考えて鑑別を挙げ・検査をオーダーし、アセスメントして治療を行うことで、多様な疾患について学ぶことができます。研修医は学生時代とは違い、自分の判断や行動が患者に

できれば嬉しく思います。



畠健悟



研修医の日常

2020 年度採用研修医 松本直也(奈良県立医科大学卒)

2020 年度採用の松本です。奈良県西和医療センターの臨床研修は少人数制の研修であるため、症例を取り合うことはありません。研修医の人数が少ない分、指導医の先生方にも名前を覚えていただき丁寧な指導を受けることができます。また、当院では研修医のためのレクチャーが多く、日々様々な知識を身につけることができます。レクチャーには優先して出席できることもあり、研修医の学ぶ環境が整っています。

もし当院での研修に少しでも興味がおありでしたら、ぜひ一度見学にいらしてください。研修医一同お待ちしております。



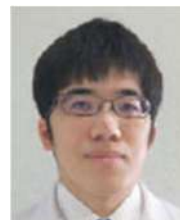
松本直也

2020 年度採用研修医 山下真稔(奈良県立医科大学卒)

2020 年度採用の山下と申します。奈良県西和医療センターでの研修生活について紹介いたします。当院では病院全体が研修医の教育に熱心で、我々が多くの知識や経験を習得するのに恵まれた環境が整えられています。様々な研修医向けのレクチャーやカンファレンスがあり、非常に勉強になります。先生方も時間をかけて熱心に指導してくださるので多くのことを学ぶことができます。さらに、上級医の先生方やコメディカルの方々がとても親切で、我々は毎日のように助けてもらいながら温かい雰囲気の中で安心して研修生活を送っています。

また、救急外来において多くの症例を経験することができるのも魅力的であると思います。当院では、研修医が上級医の指導下で初期対応として問診や身体診察、検査を行います。そして、自分自身で考えた後に、上級医と相談して治療を行います。救急外来対応時も丁寧に指導いただけるので大変勉強になります。

以上のように奈良県西和医療センターにはたくさんの魅力があり、私自身も充実した日々を過ごしています。当院での研修に少しでも興味を持たれた方は是非見学にいらしてください。お待ちしております。



山下真稔



2020 年度採用研修医 横山友亮(奈良県立医科大学卒)

こんにちは。2020 年度採用の横山友亮です。当院に興味を持っていただきありがとうございます。研修プログラムの魅力をいくつかお伝えしたいと思います。

当院では研修医のために様々なレクチャーや手技実習が行われていて、心電図、エコー、画像診断などを学ぶ機会が多く得られます。また研修医のためのモーニングカンファレンスでは、研修医同士で発表し合い、勉強した内容を共有することができます。日々の業務では上級医の先生方のみならず、コメディカルの皆さんもとても親切で仕事のことを何でも教えていただけます。救急当直では上級医の指導の下でファーストタッチを行うことができ、診察終了後にはフィードバックを受けることができるため症例を担当することに成長に繋がります。研修医の人数も適度であるため指導がしっかり全員に行き届き、症例の取り扱いになることはありません。当直明けは業務を免除していただけたり、iPad を支給していただけたりと仕事の環境も良いので集中して研修に取り組むことができます。日常生活においては、利便性のよいJR王寺駅の近くにある広くてきれいな医師住宅を格安で利用することができます。出張や買い物の際などとても便利で奈良県とは思えないほど暮らしやすいです。見学に来ていただければより詳細に当院の雰囲気を知ることができると思いますので、ぜひ一度お越しください。



横山友亮

2020 年度採用研修医 渡邊正士(奈良県立医科大学卒)

初めまして、2020 年度採用の渡邊正士と申します。奈良県西和医療センターの臨床研修の良いところは、人数が多すぎず、少なすぎず丁度良く、また指導医の先生をはじめいろんなスタッフの方々と接することができて丁寧に指導して下さり、医師として人間としても成長できる環境と教育体制が整っているところにあります。また、当直や救急外来では、患者さんに対してファーストタッチで対応させていただくことが多く、自らで考えて行動し、その後指導医の先生方が丁寧に指導して下さります。自分で考えて行動したことに対して教えていただけるので自分で机に向かって勉強する以上の成果を得られていると実感しています。このように自主的に学べる機会が多い点もおすすめできるところです。また、レクチャーやエコーの実習、臨床英語の講義なども定期的に行われ充実しており、自分で勉強するのが苦手な人にもペースメーカーとして勉強する機会を与えてくれます。病院全体で研修医を育てようという雰囲気がにじみ出ています。

現在研修医は 20 人程で研修医ルームが与えられており、1年目、2年目ともに距離が近く非常に仲が良く、毎日和気あいあいとしながら楽しくかつ切磋琢磨しながら臨床研修を行っています。最後に奈良県西和医療センターのおすすめポイントとして、自分で本を読んでガツガツ勉強するというタイプよりは指導医の先生や先輩に教えてもらいながら研修していきたい人、忙しすぎず適度に自分の時間を大切にしながら研修生活を送りたい人、この二つのどちらかに当てはまる人は是非奈良県西和医療センターに来ていただければ充実した研修生活を送れることを約束します。是非一度奈良県西和医療センターに見学に来ていただければ、さらに当院の魅力を伝えることができると思います。研修医一同お待ちしております。



渡邊正士

研修医の日常

2020 年度採用研修医 山田光陽(奈良県立医科大学卒)

こんにちは。2020 年度採用の山田です。みなさんはどんなことを重視して研修病院を選ぼうと考えていますか？教育体制、ローテーションの選択の自由度、病院の規模、雰囲気、救急受け入れの件数、研修医の人数、待遇、立地、設備の新しさ、3年目以降の専攻医プログラムなどなど、様々な視点で研修病院を探していることと思います。すでに志望の診断科が固まっており、それに合わせて研修病院を探している人もいますことでしょう。

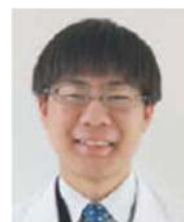
さて、ここでは 2 年間の研修全体の話をするよりも、「どのように研修を始めるか」を考えてみてほしいと思います。研修初日を想像してみてください。カルテの書き方、処方出し方、物品の配置、診察、手技などなど、少し考えるだけでわからないこと、できないことの多さに不安を覚えてくるのではないのでしょうか。この不安な気持ちはみんな一緒です。私も不安でいっぱいでした。そんな不安な気持ちを思い出しながら、奈良県西和医療センターのことをお伝えしたいと思います。

奈良県西和医療センターの研修は必ず内科から始まります。私は腎臓内科から研修をスタートしました。腎臓内科では4人の先生が研修医を指導してくださいます。研修初日から、入職したばかりでなにもできない自分に、小さなことから自分のレベルに合わせて課題を示してもらいました。できそうなことは任せてもらえ、難しそうなことは一緒にやり方を教えてもらえることで、充実した研修を送ることができています。課題をもらって終わりではなく、常に研修医のことを気にかけてもらえます。「なんでこの薬が入ってるかわかる？」「どうしてこのアセスメントになるかわかる？」など、先生の方からもこまめに声をかけてもらえ、小さなことでも気軽に質問ができる環境が整えられています。

腎臓内科で研修をしているからといって腎臓疾患や透析患者さんだけを診るわけでは決してありません。最初の一週間だけでも誤嚥性肺炎、脳梗塞、関節リウマチなど、診療科にとらわれず様々な症例を経験させていただきました。研修で回る診療科にとらわれず、幅広く common diseases を経験することができるのも当院の大きな魅力です。

現在は1年目、2年目とも 10 人で研修しています。多すぎるほどでもなく、指導医の先生や看護師さんに顔を覚えてもらえ、かといって少なすぎて寂しくなることもなく、お互い助け合える、ちょうどいい人数です。1年目と2年目が必ずペアで当直に入ることができるというメリットもあります。広々とした研修医室もあり、電子カルテは一人一台配布され、かなり過ごしやすい環境が整っています。

他にも、日々の勉強会のことや救急外来のことなど、お伝えしたい魅力はまだまだたくさんあります。ぜひ見学にお越しください。お待ちしております！



山田光陽



2021 年度採用研修医 市居大季(奈良県立医科大学卒)

初めまして、2021 年度採用の市居です。奈良県西和医療センターの魅力についていくつか話したいと思います。

1つは研修医の人数です。当院の研修医は、1学年で10人、2学年合わせても20人と、多すぎず少なすぎず、ちょうどいい絶妙な人数だと思います。症例の取り扱いなどは起こらず、全員に均等に機会が回ってくるので、経験を積むことができます。1 つ 1 つの症例や手技について丁寧に指導してくださり、しっかりと学ぶ機会、手技を実践する機会を得ることができます。

当直では、救急外来にきた患者さんにファーストタッチで対応させていただけます。自分で問診をし、検査をオーダーし、自分で考えて患者さんを診ることができます。また、実際に行ったことについて、指導医の先生からフィードバックして指導をしていただけます。自分で考えて、自分で行動し、また、そのことについて教えていただけるので、机で勉強する以上の成果が得られると思います。また、レクチャーが多いのも魅力の1つです。様々なレクチャーがあり、その1つ1つが、実践的な内容で、研修をするうえで非常にためになります。特に、毎週金曜日にある中村孝人先生のレクチャーでは、実際に経験した症例をもとに振り返りを行い、疾患だけでなく、診察についても学ぶことができます。もし、奈良県西和医療センターに興味がおありでしたら、ぜひ見学にいらしてください。研修医一同お待ちしております。



市居大季

2021 年度採用研修医 川島遼太郎(奈良県立医科大学卒)

初めまして、2021 年度採用の川島です。

私は最初に内科 4 か月をローテートさせていただきましたが、どの診療科の先生方も熱心に指導してくださり、雰囲気の良い中で研修することができました。また、コメディカルの方も丁寧に教えてくださる方ばかりで、分からないことがあっても誰にでも聞きやすい環境になっています。研修医は 1、2 年目合わせて 18 人と多すぎず少なすぎずのちょうど良い人数です。様々な志望科を持った色々な考え方を持った研修医が周りにいることで、毎日いい刺激をもらっています。何より当院は救急当直の初期対応は基本的に研修医のみで行っていて、2 年目の先輩方には救急対応や患者の病態について教えていただき、1 年目の同期とは支え合いながら様々な救急症例を経験することができます。ローテートで特に印象に残っているのは呼吸器内科で、基本的な検査や内科処置の手技を自分の技量に合わせて段階的に教授して下さったうえ、深く病棟管理に携わらせてくださり初期対応から終末期のお看取りまで患者さんと向き合える時間を多く持つことで自信と責任を持って患者さんと接するようになったと思います。

この病院で勤務していて感じたのは、上級医や先輩の研修医の方々、コメディカルの皆さんが 1 年目の研修医をしっかり見てくださっているということです。できていないことや間違っていることがあれば見逃さず指導して下さいますし、成長した部分に関してはしっかり評価していただき先の段階を見据えてより進んだ教育をして下さいます。この点が当院で研修する上で最も魅力的であると考えています。是非一緒に研修医生活を送ってみませんか。お待ちしております。



川島遼太郎

研修医の日常

2021 年度採用研修医 河村健矢(奈良県立医科大学卒)

初めまして、2021 年度採用の河村健矢です。

僕が研修を終えて、実感した奈良県西和医療センターでの研修の良さについてお話しさせてもらいます。当院は病院全体としてとても教育に熱心です。

様々なレクチャーやカンファレンスがあり、非常に勉強になります。さらには当直以外でも内科ローテ中に、救急対応の機会があり、多くの救急症例を経験することが出来ます。

救急対応やカンファレンスの準備、病棟業務などどれも大変なことばかりですが、その分日々学びがあります。そして上級医、コメディカルの方々、皆さんとても親切に指導していただき日々楽しく研修生活を過ごさせていただいています。

少しでも奈良県西和医療センターでの研修に興味を持たれたらぜひ見学にいらしてください。お待ちしております。



河村健矢

2021 年度採用研修医 高橋広太(神戸大学卒)

2021 年度採用の高橋です。これから奈良県西和医療センターと奈良県の魅力を伝えさせていただきたいと思います。僕はもともと兵庫出身で奈良にゆかりは全くありませんでした。兵庫での就職を大体決めていたので、単なる興味で近隣地域の病院を探していました。その中で西和は倍率も程々で立地と教育も悪くないと思い興味を持ちました。早速 Zoom での説明会に参加してみました。参加してみたら驚くことに学生 2 人に対して先生方が何十人も参加しておられました。そのときの熱意に感動し、実際にこの目で見てみたいと心から思いました。見学に行き、西和の人の優しさ、奈良の自然と古来の文化の心地よさに触れ、魅力に取り憑かれてしまいました。気づいたら第 5 志望探しから見つけた病院を第 1 志望に上げていました。

研修医は最初知らないことだらけでストレスいっぱいですが、病院に関わる多くの人に支えてもらっているからこそ健全に研修生活が送れているのだなと感じます。特に優しい先輩、面白い同期には感謝しかありません。

奈良県にきたのも正解で日々落ち着いた雰囲気には癒されています。まだまだ奈良県に関しては素人なのでこれからどう堪能していこうか画策しております。



高橋広太



2021 年度採用研修医 棚瀬万葉(大分大学卒)

初めまして、2021 年度採用の棚瀬万葉と申します。この度は奈良県西和医療センターのパンフレットを手にとって頂きありがとうございます。当院の魅力を少しでも皆様にお伝えできれば幸いです。当院の魅力は大きく3つあると思います。

1つ目の魅力は、上級医の先生方や全ての医療従事者が親身になって研修医を指導して下さることです。入院患者さんや救急受診した患者さんが診察・治療を受けて自宅や施設に帰るまで様々な職種の方と連携をとりながら医療を施します。上級医の先生から診察方法や鑑別疾患の考え方等を学ぶだけでなく、薬剤師さんから薬の副作用や容量、薬物動態などを学んだり、理学療法士さんと退院に向けてのリハビリ調整をしたり、社会福祉士さんに施設へ帰る段取りをして頂いたり和多職種の方と多方面に関わり医療の仕組みを学ぶことができます。

2つ目はレクチャーが豊富なことです。1つの診療科を1か月ないし2か月ごとにローテートしますが、私は当直や救急外来で患者さんを診察する際に自分が今研修している診療科の思考に偏ってしまいます。放射線読影講義やエコーの練習、心電図の読み方など様々な分野のレクチャーがあるおかげで思考が偏ることなく広い視野で患者さんを診察することができると思います。

最後は何と言っても、優しく教えて下さる先輩方・互いに高めあえる同期の研修医の存在です。どの病院でも体力的・精神的にしんどいことはあると思います。その時に助け合い一緒に成長できる仲間がいることは一生の財産になります。私も幾度となく助けられてきました。

一度奈良県西和医療センターへ見学に来て、病院の雰囲気を肌で感じていただけたら嬉しく思います。心よりお待ちしております。



棚瀬万葉

2021 年度採用研修医 辻絢斗(佐賀大学卒)

こんにちは。2021 年度採用の辻絢斗です。当院に興味を持っていただきありがとうございます。当院の魅力を少しでもお伝えできればと思います。

当院の一番の魅力としては、指導医の先生方との距離感が良く、何でも質問しやすい環境であることが挙げられます。当直で様々な先生方と接する機会があるのですが、どの先生方も熱心に指導して下さい、とても勉強になります。

また、エコーや心電図、放射線読影など様々な勉強会が企画されており、幅広い知識を身につける事ができると思います。そして、救急外来では患者さんに研修医がファーストタッチで対応させていただく場合が多いので、勉強会で学んだ知識を実践する機会も多く、知識の定着も早いと感じています。当院の研修医は私を含め他大出身者も多く、多様性に富んでおりとても楽しいです。奈良医大出身の先生方との壁もないので、他大学の方も気後れせずに来ていただければ嬉しいです。先輩の先生方との仲も良く、困った際はすぐに助けてくださり非常に心強いです。

当院の雰囲気の良さは実際に見学に来ていただければすぐに伝わると思いますので、ぜひ病院見学にお越しください。お待ちしております。



辻絢斗

研修医の日常

2021 年度採用研修医 辻本虹歩(香川大学卒)

この度は、奈良県西和医療センターでの初期研修に興味を持って来てありがとうございます。今この文章を読んでいるあなたがもしもまだ見学に来たことがないのなら、今すぐに見学の申し込みをすることをおすすめします。というのも、パンフレットやホームページではその病院の雰囲気などを本当に意味で知ることは難しいからです。私は奈良県西和医療センターがどんな病院なのかあまり知らずに見学に来たのですが、ここで働く医師やコメディカルの方々の雰囲気の魅力を感じ、その日のうちにこの病院が第一志望になりました。実際に働き始めて、同期や先輩の研修医の先生だけでなく指導医の先生方やコメディカルの方々に毎日のように助けられて過ごしています。この環境でなければここまで一生懸命研修に取り組むことはできていないと思います。初期研修の2年間は精神的にも体力的にも辛い場面がたくさんあると思います。この病院だったら2年間で自分らしくしっかりと頑張ることができそう、と思える病院をぜひ見つけてください。あなたにとってその病院が奈良県西和医療センターであることを願っています。



辻本虹歩

2021 年度採用研修医 中西祥子(徳島大学卒)

こんにちは。2021 年度採用の中西です。

研修を通して実感した奈良県西和医療センターの良さを少しでもお伝え出来ればと思います。

奈良県西和医療センターにはスキルアップのための豊富な勉強会、研修医が自分で設定できる柔軟な研修プログラム、病院と駅の両方に近い利便性の高い下宿先、医局と独立した研修医ルームなどたくさんの魅力があります。そして何よりも医師間、多職種間の仲の良さが1番だと思います。

初めての当直で不安な中、看護師の方が「大丈夫だった？」と声をかけて下さり、翌朝上級医や先輩研修医が「分からなかったところがないか見直そうか」と一緒に復習して下さい、心強いサポートで乗り切ることが出来ました。今も病棟や救急の現場で熱心で親切的な指導医や先輩研修医、頼れる看護師の方々に支えられ励まされて学ぶ日々です。

ぜひ一度見学に来てください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



中西祥子



2021 年度採用研修医 西崎友哉(奈良県立医科大学卒)

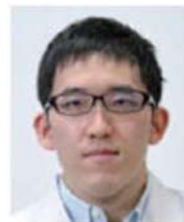
初めまして、2021 年度採用の西崎です。

奈良県西和医療センターでの研修に興味を持っていただきありがとうございます。

当院での研修は、まず内科系を 2 ヶ月ローテーションしカルテの書き方や処方の仕方など基本的な業務を学ぶことから始まります。最初は簡単な事でも時間がかかり苦労もありますが、少しずつ着実に力をつけていくことができます。私の場合は呼吸器内科を選択したのですが、薬剤師さんや理学療法士さんなどコメディカルの方々との連携や在宅酸素療法の導入など、内科病棟業務の基本を学ぶことが出来ました。また、動脈採血など基本的な手技の習得はもちろんのこと、5 月には胸腔穿刺も経験することができ、技術面においても大きく成長することが出来ました。

そして、その後 1 年目は必修科目を中心にローテーションし、診断や治療に必要な基本的知識・技術を身につけていきます。この文章を書いている今は麻酔科をローテーションしていますが、かなりの数の気管挿管を経験することができ、A ライン確保や腰椎穿刺などについても十分な数をこなすことが出来ます。教育熱心な先生方と親切に接して下さるコメディカルスタッフの方々に支えられ、日々成長を実感しながら充実した研修生活を送ることができます。

ます。



西崎友哉

2021 年度採用研修医 齊藤正一郎(奈良県立医科大学卒)

こんにちは、2021 年度タスキの齊藤と申します。

奈良県西和医療センターでの初期研修の最大の特徴はなんと言ってもそのフレキシブルさにあります。病床数は 300 床と大病院とは言えませんが、その分先生同士の距離が近く、やる気さえ示せばなんでもやらせてもらえ、経験することができます。

太平洋戦争時の折、連合艦隊司令長官であった山本五十六の有名な言葉に「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」というものがあります。西和の先生方やコメディカルの方々

は皆さん大変優しく、この言葉通りの教育を僕は西和の研修で日頃から感じることができています。

2 年目になると奈良県立医科大学などの関連病院での研修も行いうことができ、血液内科や脳神経内科など奈良県西和医療センターにはない診療科の研鑽の補填はしっかりされることになります。

このように小規模病院の良さを生かしつつ、デメリットも埋めるシステムが整っているのが奈良県西和医療センターという病院ですが、逆に言うと自分で研修システムを良い方向に変えていこうというマインドが全くない人や、そもそもあまりやる気がない人には向いていないかもしれません。フレキシブルさや先生方の優しさが仇となりいわゆるハイポ病院での研修に近いものになってしまいます。

奈良県西和医療センターは日々の研修に対して改善点を見つけていけるようなマインドのある研修医、「それ、やらせてください」と言える研修医を求めていますし、僕もそのような後輩と研修を一緒にできたらいいと思っています(まあこれを読んでくださる後輩の先生方が西和で働き始める時僕はもういませんけど笑)



齊藤正一郎

研修医の日常

2021 年度採用研修医 藤中加奈(奈良県立医科大学卒)

初めまして、2021 年度採用の藤中と申します。奈良県立医科大学付属病院 B(通称たすき)プログラムで初期研修の2年のうちの1年目の研修を奈良県西和医療センターで行いました。当院での研修が決定してから研修がスタートするまで病院や職員の皆様に馴染むことができるだろうかと不安もありましたが、杞憂でした。春からの研修生活で実感している当院の魅力は指導医だけでなく病院全体のスタッフの方々の心遣いの細やかさです。当院の初期研修医は救急外来でのファーストタッチ、病棟業務、種々の手技などを最前線で行います。そのような恵まれた日々は病院全体が私たちの主体性を重んじ、かつ近くから指導・サポートして下さる環境により成り立っています。2年目研修医の先生も1年目研修医にその時々には様々なアドバイスをしてくださり、とても良好な関係を築けています。またレクチャーなどの多さも当院初期研修プログラムの魅力であります。多様な業務を行いながら勉強会に出席することは容易いことではありません。それでも業務外での学びの機会を享受できるのはこれらの活動に対する参加を病院全体があと押ししてくださっている背景があるからだと感じています。この雰囲気は初期研修医一人一人のやる気へ繋がっており、私個人としてはとても感謝しております。

総じて、私たち研修医の声によく耳を傾けてくれる病院です。より良い研修の形を求めて指導医の先生のみならず、研修医も一丸となって取り組んでおります。ぜひ、当院の初期研修プログラムにご興味を持たれました方は、見学・Web 見学にいらしてください。初期研修医をはじめ病院全体で皆様をお待ちしております。



藤中加奈

2022 年度採用研修医 上野慎治(山口大学卒)

初めまして、2022 年度採用の上野慎治です。

私は最初に呼吸器内科を2ヶ月ローテートさせていただきましたが、その2ヶ月間で非常に充実した研修生活を送らせていただきました。自分で患者さんに直接会いに行き患者さんの状態を把握し、検査をオーダーしてその結果から患者さんに最善の治療を考えるとといった本当に将来の役に立つ研修をさせてもらっています。自分一人で考えるのではなく、自分で考えたことを指導医の先生に相談して適切なアドバイスをしていただくという手厚い指導のもと研修しています。呼吸器内科にローテート中であっても他の科の先生に相談すれば親身に相談に乗っていただけます。奈良県西和医療センターは研修医にとって非常に有意義な2年間を送れる環境になっていると思います。

また、臨床業務以外に勉強会も非常に充実しています。例えば、中村先生の総合内科カンファレンスは身体診察の重要性や、救急外来に運ばれてきた患者さんの初期対応の基礎など研修医にとって非常にためになる勉強会となっています。

奈良県西和医療センターでの研修を通して、当センターは指導医の先生方はもちろん、先輩方やメディカルの皆さんが研修医をしっかりと見てくださる非常にアットホームな病院だと感じています。是非一度、病院見学に来て奈良県西和医療センターの雰囲気を感じ取ってください



上野慎治

2022 年度採用研修医 大久一樹(奈良県立医科大学卒)

初めまして、2022 年度採用の大久です。

僕が臨床研修を通して実感した当院の最大の魅力は、研修医教育への熱意がとても強いということです。上級医の先生方だけでなく、看護師さんや他のコメディカルの方々が、私たち研修医に対してとても親身になって指導してくださります。また、総合診療カンファレンスや放射線読影講義、超音波セミナーなど様々な勉強会が企画されており、研修医に必要な様々な知識・技術を身に付ける事ができます。そして何よりも、病院全体で臨床研修をより良くしていこうという雰囲気があることが私が当院での研修を選んで良かったと一番感じるところです。

ちしております。



大久一樹

2022 年度採用研修医 河本瑛仁(奈良県立医科大学卒)

初めまして、2022 年度採用の河本です。

奈良県西和医療センターでの研修に興味を持っていただきありがとうございます。

私が当院を選んだ理由は、熱心な教育が受けられることや、救急患者の First-touch の機会が豊富なこと、研修医の人数、雰囲気、などなど枚挙に暇がありません。実際に研修してみて、当院の魅力をあらためて実感しています。研修内容等に関する生の声は他の研修医の紹介文を参考にさせていただくとして、私がお伝えしたいアピールポイントは、病院スタッフの方々と距離感が近いことです。研修は自分次第とは言いますが、教育熱心な先生方は勿論、親切なコメディカルスタッフの方々、とても頼りになる先輩方、心技体を互いに切磋琢磨し合える同期の存在は医師として最初の 2 年間の成長における大きなアドバンテージになるはずです。

是非一度、見学にいらして下さい。当院の雰囲気を直接感じていただければと思います。奈良県西和医療センター職員一同、心よりお待ちしております。



河本瑛仁



研修医の日常

2022 年度採用研修医 中若菜(福岡大学卒)

初めまして、2022 年度採用の中です。

奈良県西和医療センターは上級医の先生方だけでなく多職種の方々ともとても距離が近い病院です。研修医が困っているとみなさん助けてくださったり、指導もたくさんして下さいます。日常の業務の中でだけでなく、心電図・エコー・画像読影など豊富なレクチャーでも知識を深めることができます。病院全体が研修医を育てようとしてくださっていることを強く実感し、1年目の最初で何もわからない状態であっても、毎日親切なスタッフの皆さんに助けにいただいています。

また私は他県の大学出身で初めは緊張していましたが、奈良医大出身の先生方や同期とも壁を感じることなく楽しく働いています。ですから、もしも他県出身ということにされている方がいらっしゃったならそれは心配されなくて良いと思います。研修医は関西だけでなく各地方の大学から集まっています。人数も1 学年 10 人前後とちょうどいい人数で、互いに教えあったり助け合ったりと楽しく研修生活を送れています。

思います。



中若菜

2022 年度採用研修医 中川こころ(奈良県立医科大学卒)

はじめまして、2022 年度採用の中川こころです。

当院の研修環境の魅力についていくつか述べたいと思います。

1つ目は上級医の先生方だけでなく、コメディカルの方々も我々研修医をととても丁寧に指導して下さることです。先生方はお忙しい診療の合間を縫ってレクチャーやレポート添削をしていただいたり、看護師の皆様からも手技のコツを教えていただいたり、日々温かくご指導していただいています。

2つ目は豊富な勉強会があることです。臨床研修と合わせて総合診療カンファ、読影セミナー、腹部エコーセミナーなど、非常に為になる勉強会を多数経験しています。仕事ですぐに役立つ内容が多く、日々の診療の中で勉強会の復習が出来ていると感じています。

3つ目は研修医へのサポートがとても手厚いことです。例えば、2022 年度から研修医に対して電子カルテ端末が1人1台支給されました。これによりカルテチェック、退院サマリやレポートの作成などが格段に便利になりました。

他にも細かい点を挙げればキリがないほど良い研修環境だと感じています。是非一度見学にいらっしやってください。



中川こころ



2022 年度採用研修医 堀木翔太(愛媛大学卒)

初めまして、2022 年度採用の堀木です。臨床研修を通して感じた奈良県西和医療センターの魅力をお伝えしたいと思います。

1つ目の魅力は、上級医の先生方との距離が近いことにあります。研修を始めたばかりの頃は、やる事なすこと全てが初めてで、わからないことが多くあります。しかし、その都度上級医の先生方に丁寧に、親身になって教えて頂けます。日々の問診、診察、処方、些細な事であってもしっかりと聞ける環境というものはとてもありがたく、安心できる部分でもありますし、また成長できる機会でもあります。2つ目は豊富なレクチャーです。定期的にレクチャーがあることで、自分がその時ローテーションしている科以外の知識や考え方を知る事ができますので、特に幅広い知識が必要となる救急対応に役立つことを多く学べます。

3つ目は研修医の数です。1 学年 10 人程度と少なすぎず多すぎず、症例を取り合うようなこともあります。なので、色んな経験を積ませていただけますし、また研修医同士の横のつながりも深く、お互いに高めあう事ができます。

ただき、より多くの魅力を知ってもらいたいと思います。



堀木翔太

2022 年度採用研修医 三好真緒(奈良県立医科大学卒)

こんにちは、2022 年度採用の三好真緒です。

私は病院見学で奈良県西和医療センターを訪れた際、先生方はもちろん、コメディカルのみなさんのあたたかい雰囲気、人柄の良さ、そして医療に対する真摯な姿勢を目の当たりにし、見学その日に当院が第一希望の病院になりました。そして豊富な勉強会に柔軟な研修プログラムの用意されているこの病院なら、初期研修の2年間、心身ともに成長できると直感的に感じました。そしてその直感は今、限りなく確信に近づいています。

臨床研修が始まり、指導医の先生方、そして研修医の先輩方から熱心にご指導頂き、看護師さんはもちろんコメディカルの皆様方に大いに助けて頂きながら、日々成長を感じつつ楽しく充実した研修生活を送っています。これを書きながら振り返ってみれば、今は、そしてこれからも、当院で初期研修がでることに心から感謝しています。

みにしています。



三好真緒



2022 年度採用研修医 元木碧人(奈良県立医科大学卒)

はじめまして、2022 年度採用の元木です。奈良県西和医療センターで臨床研修をおこない、その中で感じた奈良県西和医療センターの魅力についてお話をさせていただきたいと思います。

僕は当初、働き出すことに対して不安がたくさんありました。皆さんもそうだと思います。しかし、奈良県西和医療センターには病院全体で研修医を育ててようとしてくださる教育体制が整っており、丁寧に一から教えてもらうことができるため、研修医としてスタートするのに最適な環境だと思います。先生方はもちろん、コメディカルの方々がとても親切で、様々な職種の方と関わることで多角的な目線で教わることが出来ます。

ローテーションをととても自由に決めることができる点も魅力だと思います。柔軟にローテーションを組み、奈良県西和医療センターにない科は奈良県総合医療センターや奈良県立医科大学などに行くこともできます。また地域実習では神奈川県三浦に行くことができるのも良い点ではないでしょうか。レクチャーの件数も適切であり、必要なレクチャーを受けることが出来ます。多すぎて消化しきれないということもなく、また自身の回っている科の業務の支障をきたすこともありません。また、研修医の人数も1 年目 2 年目合わせて、約 20 人であり、少人数でレクチャーを受けることができます。ダラダラと話してしまいましたが、もし奈良県西和医療センターに興味を持ていただければ幸いです。少しでも興味を持ていただいたら一度見学に来てみてください。1 日だけでも奈良県西和医療センターの魅力を感じられると思います。お会い出来る日を楽しみにしています。



元木碧人

2022 年度採用研修医 安田由理子(奈良県立医科大学卒)

こんにちは、2022 年度採用の安田と申します。この度は奈良県西和医療センターに興味をもってくださりありがとうございます。私が初期研修病院を探すにあたり重視していたのは、勉強会などの座学的な学びと実践的な学びがどちらも充実していたことでしたが、この点において西和は理想的な病院だと思います。

勉強会といっても実践的なものが多く、放射線読影講義やエコーのレクチャー、心電図の読み方など明日から使える知識を学ぶことができます。救急外来でのファーストタッチ、病棟業務、様々な手技を行う機会があればどんどんやらせていただけるため、勉強会で得た学びをすぐに生かすことができます。指導熱心な指導医の先生方や2年目の先生方、心強い看護師の方々がこまめに指導・サポートして下さるので、学びという点において申し分ない環境です。

また、西和で働く方々の人柄は大きな魅力だと思います。惜しみなく時間を割いてレクチャーしてくださったり、業務に慣れない身でつらくないか気にかけてくださったり、たくさんの方々に支えられながら日々の研修生活を送っています。こういった優しさは勿論個々人のものですが、病院全体の雰囲気としてもあるように感じます。

紙面だけでは西和の魅力は全く伝えきれませんので、ぜひ一度見学にいらしてください。皆さんとお会いできるのを心待ちにしています。



安田由理子

2022 年度採用研修医 横山仁美(奈良県立医科大学卒)

初めまして、2022 年度採用の横山仁美です。この度は奈良県西和医療センターでの初期研修に興味を持っていただきありがとうございます。

当院の魅力は、勉強会が豊富な点、研修プログラムがフレキシブルな点、救急の初期対応をさせていただける点など多岐に渡りますが、なによりも医師やコメディカルの方々の雰囲気の良いところが最大の魅力だと思います。先輩の研修医や上級医の先生方だけでなく、看護師や薬剤師など様々な職種の方々が丁寧に指導して下さいます。

私はローテートの最初に総合内科を選択したのですが、「まずは慣れることが大事」と、カルテの書き方など基本的なことから優しく教えていただきました。そして先生方およびコメディカルの方々のサポートの元、手技や診察、病棟管理について多くのことを学びました。患者さんの診察を行い、鑑別を挙げ、必要な検査や治療を考え、上級医にフィードバックをいただくことで、着実に実力をつけることができます。「分からないことがあればいつでも何でも質問してくれると嬉しい」と仰っていただき、心理的安全性が非常に高い環境であると感じました。

少しでも当院での研修に興味を持たれたら、ぜひ一度見学にいらしてください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



横山仁美

2022 年度採用研修医 川西修平(奈良県立医科大学卒)

初めまして。2022 年度採用の川西修平と申します。奈良県立医科大学附属病院B(通称:たすき)プログラムで初期研修の1年目を奈良県西和医療センターで行っています。

当院の魅力は、研修医の指導が手厚いことが挙げられます。指導医のみならず、看護師、臨床検査技師、臨床工学技士、他にも様々な職種の方が研修医に教えて下さります。

研修医が一つ医療手技を行うにしても、まず指導医が手技の経験を研修医に勧めて下さります。そして、実際指導医に横で見てもらいながら研修医が手技を行います。その後、行った手技の評価や補足情報を教えて下さります。手技がうまく出来なかった場合でも、優しく改善点を指摘していただけます。仕事上での指導以外にも、研修医主体で行うモーニングセミナーや、放射線科による画像診断講座、超音波エコーセミナーなど、実臨床で必要となる手技を学ぶ事が出来ます。

自分自身の成長を実感できる環境が当院にはあると感じています。私は、この病院に就職できて良かったと実感しており、とても感謝しております。



川西修平



研修医の日常

2022 年度採用研修医 北風真子(奈良県立医科大学卒)

こんにちは。2022 年度採用の北風です。短い紹介文ではありますが、少しでも当院の雰囲気や魅力をお伝えできればと思います。

奈良県西和医療センターは病院全体が研修医の教育に対して高い意識を持っていると感じています。様々な勉強会、エコーや画像読影のセミナー、カンファレンスなどが企画されており、外部から講師が来てくださることも多く幅広い学びを得ることができます。働き始める前は勉強会が多いと負担にならないか心配でしたが、いまのところ負担には感じていません。むしろ働いていると自分の知識不足、経験不足を痛感する毎日なので、勉強する機会があることはとてもありがたく思っています。また、スタッフの皆さんも研修にとっても協力的で、不慣れな手技でもたついたりした時もあたたかく見守りアドバイスをくださる方ばかりです。

研修医全体の雰囲気もとてもよく、研修医ルームではみんなで採血の練習をしたり、分からないことを一緒に調べたり教え合ったりと楽しく過ごしています。先輩研修医の先生方も親切に色々教えてくださりとても心強いです。周りの真面目さ優秀さに感化され、不出来な私も何とか頑張っています。一緒に頑張る仲間、尊敬できる先輩がいなければもっと怠けていたと思います…。

ここまで色々書いてきましたが、百聞は一見にしかず！実際に病院に見学に来て、雰囲気を感じ取っていただくのが 1 番だと思います。ぜひ見学にいらしてください。皆さんとお話できるのを楽しみにお待ちしております。



北風真子

2022 年度採用研修医 水野雄貴(奈良県立医科大学卒)

初めまして、2022 年度採用の水野雄貴と申します。この度は奈良県西和医療センターに興味を持っていただきありがとうございます。奈良県西和医療センターでは非常に充実した研修生活を送っております。奈良県西和医療センターの魅力に、指導医の先生方を始め、スタッフの方々が非常に教育熱心なところがあります。正直なところ研修当初は分からないことばかりで、小さいこと一つするにも苦労していました。しかし、当院のスタッフの方々はいつでも親切にそして丁寧に教えてくださるので、日々少しずつ成長を感じることができます。特に救急当直では上級医の先生の下で、問診、身体診察、鑑別、検査、治療方針などを自分で考え、すぐにフィードバックしていただけるので、一つ一つの症例から多くのことを学ぶことができます。他にも豊富な勉強会を設けていただいたり、一人一台電子カルテのパソコンが用意されており、いつでもカルテを確認できるようにしていただいたりなど、よりよい研修ができるように先生方が研修医の意見を聞いてくださいます。

す。



水野雄貴



2023 年度採用研修医 井原弘貴(三重大学卒)

初めまして、2023 年度採用の井原弘貴です。この度は、当院のパフレットに目を通していただき誠にありがとうございます。奈良県西和医療センターの良いところは、アットホームな雰囲気があり、とても研修を行いやすい環境であるところだと思っています。ですので当院に少しでも興味がありましたら、是非一度見学に来ていただければと思います。当院は規模が大きすぎない分、どの職種の方とも顔が見える関係になります。そのため上級医の先生方は研修医を手厚く指導して下さりますし、また私たちも些細なことでも相談できるような関係になることができます。手技に関しても、できないことは一から教えてくださり、できることは私たちに任せてくださるので、確かな知識と手技を身につけることができます。その他にも他職種の方と関わる機会も多く、いつも皆さんから多くのことをご指導いただいております。そこも当院の魅力の一つだと感じております。

皆さんが見学に来てくれることを研修医一同楽しみに待っております。



井原弘貴

2023 年度採用研修医 宇和田佳太(福岡大学卒)

始めまして、2023 年度採用の宇和田です。この度は奈良県西和医療センターの研修に興味を持っていただきありがとうございます。

西和医療センターでの研修では、スキルアップのための様々な勉強会や合宿、研修医一人一人が自由に設定できる自由な研修プログラム、王寺駅近郊という県内外のアクセスのよい環境での生活、
そ

して医療スタッフの皆さんの温かさの中での業務と、挙げればきりが無いぐらい魅力的な研修環境が整っていることが自慢です。

私が臨床研修医として働き始めてから半年以上が経ちましたが、この間にルートキープから CV 挿入、動脈採血、胸腔刺、腹腔刺など様々な手技を経験することができ、さらに身に付けることができました。また、担当患者を通じて身体診察はもちろんのこと、輸液管理や抗菌薬の選択と調整、病棟管理等、様々な知識を学ぶことができましたし、各科の先生方の講義等を通じて、医学生時代よりさらに医学知識を広げ、また深めることもできています。

西和医療センターでの研修はまだまだまだたくさん魅力的なことがあります。ここでの文章では伝えきれないあたたかい雰囲気や、研修医の仲の良さ等まだまだたくさんあります。

ぜひ興味を持っていただけたら随時見学を受け付けておりますので、その際は我々研修医が西和医療センターの良さを直接十二分にお伝えします。西和医療センターが好きになること間違いありません。それではいつの日か直接会ってお話できることを楽しみにしています。



宇和田佳太



2023 年度採用研修医 北野涼太(奈良県立医科大学卒)

初めまして、2023 年度採用の北野涼太と申します。僣越ながら奈良県西和医療センターで研修して実際に感じたことやアピールしたいことをお伝えできればと思います。

まずは充実した研修環境です。研修医に向けた豊富な勉強会、自分の興味や志望に合わせて柔軟に変更できる研修プログラムなどいろいろ挙げられますが、何より職員の方々の温かな雰囲気が当院の一番の魅力だと感じています。私自身、働きはじめのころは右も左もわからない状態でしたが、指導医の先生方、そしてコメディカルの方々に助けられながら日々の業務のなかで生長を感じることができています。

また、自分にとって大きな転換点となった夏合宿も奈良県西和医療センター臨床研修の目玉の一つだと思います。夏合宿では初期研修のうちに習得すべきさまざまな手技のトレーニングに加え、CPA 患者に対するシナリオシミュレーショントレーニングを行います。2 泊 3 日の期間で集中して手技に取り組むことで、実際に病棟や救急外来で手技を行う際や、CPA 患者さんへの初動が明確に変わったように感じています。

奈良県西和医療センターは充実した研修環境や夏合宿の実施など、病院全体としてより良い研修生活を送れるよう努力してくださっているんだなと実感しています。教育熱心であたたかな奈良県西和医療センターでの研修に少しでも興味を持たれた方は、ぜひ一度見学に来ていただければと思います。



北野涼太

2023 年度採用研修医 長宗輝都(奈良県立医科大学卒)

初めまして、2023 年度採用の長宗輝都です。西和医療センターで 1 年間勤務し、私が感じた当院の魅力についてご紹介したいと思います。

最大の特徴としては、診療科同士の垣根が低く、ローテしていない科でもいつでも相談しやすい雰囲気があることです。例えば、病棟業務で専門科について聞きたいことがある時は、垣根が低いことで相談しやすく、広い視野で判断ができる環境だと感じました。

また当直では、患者やご家族に話を聞いて自分で鑑別をあげたり手技を行ったりしながら、上級医と共に診察していきます。始めは不安でいっぱいでしたが、実践を通しながら、上級医に親切丁寧に指導していただいたおかげで、不安を感じることなく知識をつけることができました。

上級医だけではなく、他の医療関係者の方々もとても優しく接していただけます。例えば、薬についてよく分からないことがあった際には薬剤師に相談させていただくなど他職種の方々に相談できる環境も整っております。

さらには、研修ローテに自由期間が多く、将来の科が決まった方や決まっていない方も調整しやすいローテとなっています。奈良医大にも研修に行くことができ、将来考えている科の医局の雰囲気を実際に働くことでイメージすることができます。

しいと思います。みなさんがお越しになることを楽しみにしております。



長宗輝都

2023 年度採用研修医 西田瑞希(愛媛大学卒)

こんにちは、2023 年度採用の西田瑞希です。私が初期研修先として当院を選んだ理由は病院の雰囲気の良いさに魅力を感じたからです。

上級医からだけでなく、看護師や理学療法士などコメディカルの方々からも多くのことを学ぶことができ、非常に丁寧に教えてくださいます。学習環境も充実しており、業務時間内での勉強会や手技合宿など、研修病院として実践的な修練を積むこともできます。

めにも、人柄の良いこの病院で、そして切磋琢磨し合える仲間たちと共に研修をしてみませんか。



西田瑞希

2023 年度採用研修医 平野信慈(奈良県立医科大学卒)

医学生の皆さん、こんにちは。西和医療センター初期臨床研修 2023 年度採用の平野です。私が思う当院の研修の魅力は教育体制です。様々な勉強会があり、病院全体で研修医を育てようという熱意が伝わってきます。上級医から指導を受けることはもちろんのこと、検査技師さんからエコーの当て方を教わったり、看護師さんからルート確保のコツを教わったりと、他の医療スタッフからの指導もあります。このような機会から多職種との関係を築くことができます。また、モーニングカンファレンスでは研修医が研修医に対して講義を行います。講義の内容も勉強になりますが、スライド作りや、プレゼンテーション能力は今後教育者の立場になるうえでも大切な力なので、良い経験になります。少しでも興味を持った方は一度見学に来てください。皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



平野信慈

2023 年度採用研修医 松本智基(兵庫医科大学卒)

初めまして、2023 年度採用の松本智基です。私は内科 6 ヶ月と救急科をローテートしました。内科では病棟管理に携わり、研修に必要な手技を身につけることができました。救急科では、初期対応から入院まで一つ一つの症例に深く関わるできるので非常に勉強になりました。私は、学生時代に見学に来たときに、スタッフだけでなく患者さんとも話しやすいアットホームな雰囲気に魅力を感じました。実際に 1 年間の研修を終えてそれを改めて強く感じています。指導医の先生方は熱心で、研修医の数も多く気軽に相談できます。指導医を始めその他のスタッフも優しく、研修体制は非常に充実していると強く感じています。少しでもこの病院に興味を持ていただければ、ぜひ見学にいらして下さい。心からお待ちしております。



松本智基



2023 年度採用研修医 山口隆也(高知大学卒)

2023 年度採用研修医の山口です。奈良県西和医療センターの初期研修について少しでも興味を持ってもらえればと思い、紹介させていただきます。

この病院で一番の魅力は雰囲気の良いさだだと思います。指導医の先生はローテートしている科にかかわらず教えてくださったり、ご飯に連れていただいたりと公私共に仲良くしていただいています。また看護師の方や事務の方などの他職種の方からもわからないことはなんでも教えていただけるのでいつも良い環境で研修生活を送ることができています。

その他にも勉強会やレクチャーが数多く用意されており幅広く知識を得ることができます。当直では初期対応の機会が多くあり毎回きちんと指導医の先生が相談に乗ってくださるので安心して手技や診療の経験を積むことができます。また電子カルテも研修医それぞれに用意されているのでいつでもカルテを参照したりレポートを作成したりできます。このように研修医のことを考えて手厚くサポートしてくださるので非常に有意義な2年間を過ごすことができます。

初期研修を行う上で何を重視するかは人によって様々だと思います。ここでは全ては述べられませんがこの病院ならどんな人でも気に入る点が多く見つかると思います。何より雰囲気は実際に見てみないとわからないと思うのでぜひ見学にお越しください。研修医一同、楽しみにお待ちしております。



山口隆也

2023 年度採用研修医 小野寺翔子(奈良県立医科大学卒)

初めまして。2023 年度採用の小野寺翔子と申します。当院に興味を持っていただきありがとうございます。私は奈良県立医科大学付属病院の B プログラム(通称タスキ)で採用され、1 年目に当院で勤務しました。西和の 2 年間のプログラムで採用された人と同様のローテや研修指導を経験することができました。1年目に臨床の土台を築くことができるので非常に良かったです。当院をおすすめする点を下3つ紹介します。

当院は初めの 2 ヶ月は内科ローテから始まります。内科を最初に回ることによって病棟管理やカルテの書き方など初歩的なことにまずは慣れることができたのは大きかったです。また、個人的にはその2ヶ月は、1年目の2、3人と同時に同じ診療科を回ることができたので不安でいっぱいな時期に同期と一緒に学ぶことができて安心できました。同じ診療科を回るといっても指導医の先生は複数人いるので、物足りなさを感じることなく、なんなら初日から充実しすぎているぐらいの日々を過ごせました。また、当院では研修医の学びの場は非常に多いです。座学も実臨床も充実しています。座学では勉強会が豊富です。放射線読影講座では研修医レベルで知っておきたい読影の秘訣などを教えていただけるので、救急など自分で読影する場では大いに役立ちます。心電図講義ではまず根本的な心電図の話から、判断が難しい心電図の読み方などを学ぶことができ、自分が遭遇した読影が難しい心電図の相談など臨床の現場では役立つことをたくさん習得することができました。勉強会は業務時間内に行われるので負担に感じることなく、毎回楽しみにしていました。また、実臨床では自分主体で動くことができます。普段のローテでは、担当患者さんを割り振っていただくので疾患を通じて病態を把握でき、頭に残りやすいです。処置は、内科でも外科でもたくさん経験させてもらえます。救急では、患



小野寺翔子

者さんの問診や身体診察、そこから必要な血液検査や画像検査、検査結果が揃ってからの鑑別や診断を自分で行います。基本的な治療方針や患者さんへの説明までさせていただくので臨床の力は確実につくと思います。もちろん上級医の指導の下で行うので相談しながらにはなりますが、基本的には自分主体で臨床医学を行うことができるのは大きいと思います。

最後に、とにかくみんな仲がいいです。病院全体の人数もちょうどよくコメディカルの方々や上級医の方々と顔と名前が一致する関係性を築き上げることができます。休みの時には研修医同士で牡蠣小屋に行ったり、上級医の方と研修医で登山に行ったり、看護師さんにご飯に行ったりと書ききれないぐらいの思い出をたくさん作ることができました。普段から仲がいいからこそ相談しやすく、お互いを頼り合う関係性を築きあげることができます。本当にいい環境で研修医生活を過ごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

ぜひ一度見学にきてみて当院を知ってください。お会いできるのを楽しみにしています。

2023 年度採用研修医 坪田孝樹(奈良県立医科大学卒)

初めまして、2023 年度採用の坪田孝樹と申します。西和医療センターで臨床研修を行い、その中で感じた西和医療センターの魅力についてお話させていただきます。

まず初期研修を行う上での環境としては非常に良かったと思います。先生方には非常に質問しやすく、様々な手技も手厚い指導の中、実際に行うことができます。研修医として気になる部分である救急・当直についてもさまざまな症例を経験することができます。実際に自分でファーストタッチを多数行うことができ、指導医にサポートしてもらえます。また、忙しすぎるだけでなく、自由な時間も確保することができ、自分で学べる時間もあります。また、レクチャーなども多く、実際に必要な場面を想定して学習することができます。そのほかにも、中規模の病院であり、コメディカルの方々とも良好な関係を築くことができます。

このように西和医療センターの魅力は様々ありますので、ぜひ一度見学に来てください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



坪田孝樹

2023 年度採用研修医 中川裕貴(和歌山県立医科大学卒)

奈良県西和医療センター2023 年度採用の中川と申します。奈良県西和医療センターの良いところは、それほど大きな規模の病院ではない分、選考医の先生や他職種の方々とも顔馴染みとなり、密な関係を築けることです。分からないことがあっても、周りに聞きやすく成長しやすい職場だと思います。また、研修医同士で学ぶモーニングカンファレンスや、各科の先生方の講義など、学びの素材も揃っている病院だと思います。よろしければ見学にお越しください。



中川裕貴



私が奈良県西和医療センターを選んだ理由

私が志望した奈良県西和医療センターの魅力

2024 年採用研修医 井阪佳奈(金沢大学卒)

こんにちは、2024 年度採用の井阪佳奈です。奈良県西和医療センターの魅力についてお伝えできればと思います。奈良県西和医療センターは、病院全体が私たち研修医の教育に非常に積極的であると感じています。職種間の垣根が低く、病棟や救急外来で、先生方や看護師さんなど様々なコ

メ

ディカルの方々に、日々指導していただいています。手技が上手くできない時もありますが、その度にアドバイスをいただきいつも励まされています。また、勉強会やセミナーなども豊富に準備されており、ローテート中の診療科以外についても幅広く学ぶことができます。研修医の数が 10 人なのも、多すぎず少なすぎないちょうど良い人数だと思います。研修医ルームで採血やルート確保などの手技の練習を一緒にやったり、わからないことがあれば相談して協力しあったりしています。頼りになる2年目の先生方と賑やかな同期のおかげで、充実した研修ができています。奈良県西和医療センターに少しでも興味を持っていただけたら嬉しいです。ぜひ一度見学に来てください。



井阪佳奈

私が奈良県西和医療センターを志した理由

2024 年採用研修医 岡本怜奈(奈良県立医科大学卒)

私が奈良県西和医療センターを志した理由は大きく分けて 3 つあります。まず1つ目は切磋琢磨できる同期が多いことです。奈良県西和医療センターは全国津々浦々の大学から研修医を採用しています。同期は学んできた環境や方言も違いますが、向上心や患者さんに対する思いは丸となっています。お互いに励まし助け合い、教え合いながらみんなでステップアップしていくことができます。

この多すぎず少なすぎずといった人数は私にとってちょうど良いと感じています。そして2つ目は診察や手技をたくさん経験させてもらえるところです。入職して2週目から当直業務が始まり、研修医は患者さんにファーストタッチを行います。もちろん初めはどうしていいのかわからないので2年目の先輩や上級医の先生と一緒に診察を行い、手技の練習を十分に経て実践に移ります。他の病院の研修医に比べても遙かに経験値は高いと私は思います。病院見学に来た際はぜひ、研修医がどのように働いているか見て欲しいです。最後に3つ目は病院の職員がみんな優しいところです。奈良県西和医療センターでは、コメディカルみんなで研修医を育てる、といった雰囲気があります。上級医が指導するのはもちろん、看護師さんも手技を行う際に横について見守ってフィードバックをくださいます。技師さん、薬剤師さん、理学療法士さんなど、コメディカルの方から勉強させていただくことも多いです。みなさんの雰囲気が温かいので気兼ねなく質問もできて毎日たくさんの学びを得て、のびのびと研修が行えます。この雰囲気の良さを、実際に当センターに来て感じてもらえたらと思います！奈良県西和医療センターは大阪からのアクセスも良いので、気軽に病院見学に来てもらえたらうれしいです。ぜひお待ちしております。



岡本怜奈

奈良県西和医療センターを初期研修先に志望した理由

2024 年度採用研修医 甲斐友卓(九州大学卒)

私は福岡生まれで、大学卒業まで福岡で育ちましたが、初期研修は福岡にこだわらず本当に自分が働きたいと思える病院で研修をしたいと思い、日本全国 10 カ所ほど病院見学に行きました。その中で、私が奈良県西和医療センターでの研修を志望した理由をいくつか書きたいと思います。私は奈良県には縁もゆかりもないのですが、レジナビ福岡で奈良県西和医療センターのことを知りました。まず魅力を感じたのは、説明して下さった研修医の方々の仲の良さです。和気あいあいとした雰囲気の中で協力しながら奈良県西和医療センターの良いところを伝えてくださり、本当に西和のことが好きなん

だなと感じました。それがきっかけで実際に病院見学に行きましたが、研修医の方々はもちろん、院長や研修プログラム責任者の先生も気さくに優しく接して下さり、研修プログラムについても丁寧に教えて下さいました。当院は一学年あたりの人数が 10 人程度と多くはなく、出身地や大学にこだわらず北海道から九州まで日本全国から様々なバックグラウンドを持った研修医が集まっており、研修医室はいつもいろいろな話題で溢れています。病院の規模も 300 床と大規模ではないので、医師だけでなくコメディカルや事務の方々に至るまで全員が研修医を見守り、育てようと尽力してくださっていると感じています。その心地良い雰囲気が、分からないことは分からないと素直に聞けることや、初めて挑戦する手技に緊張しすぎず挑めることにつながっていると思います。

西和の研修プログラムは、一言で表すと「柔軟」です。必修である内科をどの科にするか、ローテートする順番、関連病院の選択などにとっても柔軟に対応していただけますし、研修していく中で仮に志望科が変わったとしても、必要に応じて決定後の変更も可能です。将来の自分の為になる研修を自分でオーダーメイドすることができます。input と output のバランスがいいことも魅力の一つです。エコーや放射線読影などのセミナーが適度にあり、そこで得た知識を病棟や救急対応で活かすチャンスがたくさんあります。他の病院での研修後に赴任された専攻医の先生方も当院のセミナーを研修医の頃に受けたかったと羨ましがっておられました。

を感じることで当院の魅力がより伝わると思います。研修医一同お待ちしております。



甲斐友卓

私が奈良県西和医療センターを研修病院に選んだ理由

2024 年採用研修医 小巻美月(旭川医科大学卒)

奈良県西和医療センターを研修病院として考えて下さったことを嬉しく思います。

私は出身大学が旭川医科大学であり、北海道から初期臨床研修を受けるため奈良県西和医療センターに来ました。当院をレジナビという冊子で知り、5年生の頃に初めて奈良県西和医療センターを見学させていただきました。病院の温かな雰囲気、先生方やコメディカルの方々、研修医の方々の人柄や雰囲気の良さを実際に肌で感じ、その点をとても魅力的に感じました。奈良県にある他の病院も見学させていただきましたが、奈良県西和医療センターで研修を受けたいと心に決めたのはこの点が一番大きいと感じています。また、整った研修環境、教育熱心な先生方や率先して働いておられる研修医の方々の姿を間近で見させていただき、当院で研修を受ければ研修医として身につけるべき能力や手技・心構えを会得する事ができると確信しました。そして、働き始めて益々当院の良さを



小巻美月

研修医の日常

日々実感しています。共に学ぶ賑やかな研修医同期や、頼りになる優しい研修医2年目の先生方にも恵まれ、当院を選んだ自分の選択は間違いではなかったと確信しています。

当院は約 300 床を有する中規模病院です。そのため、診療科ごとの垣根も低く、指導医の先生方との距離も近いので、何か疑問に感じたことや分からないことがあればすぐに質問や相談がしやすい環境が整っています。また、研修医1人に1台ずつ電子カルテ端末が与えられており、さらに手技の練習を行うことができるトレーニングルームもあるなど研修環境として申し分ないと思っています。

研修医は全国から集まっています。奈良県の学生が優先採用されて奈良県以外の学生が不利になるということはありません。自分自身が行ったことのない全国の各地域から奈良にやって来た研修医同士で、地元の話をしあうのは新たな発見もありとても楽しいひと時です。

少しでも奈良県西和医療センターに興味を持って下さったのであればぜひ見学に来てください。そして当院の良さを実際に見て感じていただきたいです。皆さんにお会いでき、研修を通して共に成長していけることを楽しみにしています。



2025 年度採用研修医 飯岡 悠希(兵庫医科大学卒)

2025 年度採用の飯岡悠希と申します。この度は奈良県西和医療センターの紹介をご覧頂きありがとうございます。大学卒業後、馴染みある奈良の地に戻り、当院で医師としての第一歩を踏み出し早一年が経ちました。

当院の最大の魅力は、「全職員との距離の近さ」にあります。医師同士はもちろん、看護師、薬剤師、技師、事務の方々に至るまで、まさに「全員が顔見知り」と言えるほどの環境です。また、日々の生活や将来の進路の悩みなど些細なことでも相談に乗ってくださる先生や事務の方々の存在が心の支えとなっています。内気な性格の私ですが、自身が奈良県外の大学出身であることを忘れるほど充実した研修生活を送ることができています。

日々の業務では「救急外来でのファーストタッチ」が大きな成長の場となっています。研修医が主体となって初期対応を行います。上手い出来ないこともたくさんありますが、何度も繰り返すことで実践力が身についていることを実感できます。

また、当院は「学びたい」という意欲があればどこまでも学べる環境です。指導医の先生方はその熱意を全力で汲み取ってくださいます。各診療科研修はもちろん、院外勉強会や学会発表など自身のステージにあった成長の場を後押ししていただき、日々の疑問を一つずつ解消しながら着実に力をつけていくことができます。

自分の歩幅で一步一步進んでいける当院の魅力は文字だけでは伝えきれません。ぜひ見学や実習にお越し頂き、肌で感じてみてください！研修医一同、お待ちしております！



飯岡 悠希

2025 年度採用研修医 Y.T(愛媛大学卒)

奈良県西和医療センターでの研修を通して、当院の魅力は大きく 2 つあると感じています。1 つ目は、ローテーションを柔軟に調整できる点です。自分の興味や将来の進路に応じて研修内容を見直すことができるため、主体的に研修を組み立てることができます。実際に研修を進める中で生まれた関心にも対応できる環境は、とても貴重だと感じています。進路がなかなか決まらなかった自分にとっては、すごくよかったです。2 つ目は、病院全体で研修医を育てようとする雰囲気があることです。指導医・上級医の先生方だけでなく、看護師さんやコメディカルの方々も含め、医療従事者の皆さんが一丸となって私たちの成長を支えてくださっています。また、日々の診療の中で、一医者として治療方針について相談に乗っていただける機会が多いことも大きな魅力です。ただ指示を受けるだけでなく、自分で考えた上で議論できる環境があり、臨床医としての力を着実に養うことができていると実感しています。このように、主体性を尊重しながらも手厚いサポートを受けられる環境で、日々充実した研修を送っています。もしご興味があれば、ぜひ一度見学にいらしてください。実際の雰囲気を感じていただけると嬉しいです。



2025 年度採用研修医 岡井 美空（大阪医科薬科大学卒）

私は奈良県立医科大学からのタスキで1年間、西和医療センターで臨床研修をさせていただいています。4月2日に初めて西和に来た時は不安もありましたが、同期の仲間や先輩方、上級医の先生方、さらには看護師をはじめとするコメディカルの皆さんまで、とても温かく迎えてくださり、安心して研修を始めることができました。どの職種の方も親切で、相談や質問を気軽にできる雰囲気があることは、西和で研修する大きな魅力のひとつだと思います。

研修の特徴としては、救急外来での初期対応を数多く経験できることが挙げられます。自分で判断して行動する力を身につけることができ、責任感を持ちながら学ぶことができます。また、採血やルート確保、縫合などの基本的な手技だけでなく、実際に現場で必要とされる多様な手技に挑戦できる機会が多いことも大きな魅力です。さらに、勉強会やカンファレンスが定期的に開催されており、日常診療での疑問点を解消できるだけでなく、幅広い知識を深められる環境が整っています。ローテーションの組み方も自由度が高く、自分の希望に合わせて柔軟に研修計画を立てることができるため、将来のキャリアを考える上でも非常に有意義だと感じています。

西和医療センターでの研修は、アットホームで学びやすい環境と、臨床現場で実践的に学べる経験が両立している点が大きな魅力です。私自身、この1年間で大きく成長できたと実感していますし、後輩にもぜひ自信を持って勧めたい研修先です。



岡井 美空

2025 年度採用研修医 竹森 杏梨（関西医科大学卒）

私は奈良医科大学のたすきプログラムにて、初期研修1年目に西和を選びました。私が西和医療センターを選んだ理由は、正直に言うと「たまたま」でした。しかし実際に研修を通して働く中で、その偶然が自分の人生にとって大きな財産になると感じています。

当院の一番の魅力は指導医との距離が近く、気軽に相談や質問ができる環境にあります。顔と名前をしっかりと覚えてもらい、気軽に声をかけてもらえる雰囲気があります。当直のときには一緒にご飯を食べながら症例の話や雑談をすることもあり、そうした時間が私にとって大きな励みになっています。研修医同士やスタッフとの関係も良好で、自然と活発な議論や振り返りが生まれるため、日々の診療の中で多くの学びを得られました。特に仲が良いからこそ率直なフィードバックを受けやすく、自分の弱点をすぐに修正できる点は大きな魅力です。特に心強いのは、不安を抱えたときやうまくいかなかったときに支えてくれる仲間や先輩がいるということです。その存在があるからこそ、自分も安心して挑戦でき、少しずつ成長していけるのだと思います。

今後当院を志す後輩のメッセージとしては、当院は初期研修の段階から手技や臨床能力を身につけたい人に非常に適した環境であるということです。主体的に学ぶ姿勢さえあれば、必ずそれに答えてくれる指導医・先輩・同期がいます。安心して飛び込んで、成長を実感できる研修を送って欲しいと思います。



竹森 杏梨